

特定非営利活動法人日本磁気共鳴専門技術者認定機構

2014 年度総会・第 1 回理事会議事録

期 日：2014 年 6 月 27 日（金）15:00～17:00

場 所：公益社団法人 日本放射線技術学会 東京事務所

出席者：新津 守，菊地克彦，熊代正行，清水 徹，土井 司，錦 成郎，
内田幸司，大野誠一郎，笠井治昌，寺田理希，小倉明夫（委任），川光秀昭（委任）
高橋光幸（委任），中島康雄（委任），山下康行（委任） 出席 10 名，委任 5 名

報告事項 [2014 年度総会審議事項(1)(2)(3)]

1. 第 9 回 MR 専門技術者認定試験，第 5 回認定者更新報告

(1) 2013 年度第 3 回理事会以降、スケジュール通りに作業を遂行した

- 3 月 11 日 第 3 理事会（メール会議）：MR 専門技術者認定試験合格者の認定
第 4 回認定者の更新の認定
- 20 日 認定試験合格証と不合格証の発送
- 3 月 25 日 更新認定証，上級 MR 専門技術者認定証の送付
- 4 月 20 日 第 9 回日本磁気共鳴専門技術者の認定の申請手続き締め切り
- 5 月 1 日 第 9 回申請者日本磁気共鳴専門技術者認定証の発行

(2) 第 9 回認定試験合格者 [資料 1]

109 人 所属団体 JMRM：68 人，JSRT：89 人，JART：72 人
男性：99 人，女性：10 人

2. 2012 認定 MR 専門技術者の更新状況 [資料 2]

89 人 / 92 人 内 17 人を上級磁気共鳴専門技術者に認定
無申請：1 人，更新要件を満たさず：2 人（1 年の猶予期間を認める）
LSMR117 は前年に都合で受講できなかった方（次の更新は 4 年後）
2014 年 6 月 1 日現在 MR 専門技術者 570 人（内上級 MR 専門技術者 53 人）
更新者 212 人

3. 収支決算報告 [資料 3]

2013 年 6 月 1 日から 2014 年 5 月 31 日までの収支決算を報告

4. 第 4 回監査報告 [資料 4]

2012 年度事業について、活動状況ならびに活動経費の運用に問題ないという監査報告を受けた。

議事 [2014 年度総会審議事項(4)(5)]

1. 2014 年度の事業スケジュールについて

2014 年 6 月 27 日 第 1 回理事会 第 10 回試験のスケジュールの決定
試験方式の検討，試験作成検討委員の選出（関西地区）
2014 年 7 月中 性能評価試験ならびに受験資格などの記載内容の検討

技師会の受験資格

- (1) 3科目 + MRI 検査の認定証の写し
- (2) アドバンス資格以上を有資格者とする
- (3) 旧来の受験資格である認定の有効期限を外した。
- (4) 取得資格は技師会の web サイト (JART 情報システム) で各自確認する。
- (5) 不明な場合は技師会に問い合わせる案内を掲載する。

2014 年 8 月中旬 各団体の会誌ならびに HP で第 10 回試験案内の広報

2014 年 11 月 1 日 ~ 11 月 18 日 MR 医療安全セミナーの申込み受付

2014 年 12 月 6 日 MR 医療安全講習会 (日本医科大学付属病院の予定)

2014 年 11 月 1 日 ~ 12 月 12 日 第 10 回認定試験申請受付

2014 年 12 月 13 日 ~ 20 日 第 10 回認定試験書類審査

2015 年 1 月中旬 第 2 回理事会 認定試験受験者の認定
試験準備ならびに試験スケジュールの確認

2015 年 1 月中旬 第 5 回認定 MR 専門技術者 更新手続きの案内状送付

2015 年 2 月 1 日 ~ 25 日 第 5 回認定試験合格者の更新受付

2015 年 3 月 1 日 第 10 回 MR 専門技術者認定試験 (神戸大学)

2015 年 3 月中旬 第 3 回理事会 認定試験合格者の認定

2. 平成 26 年度認定試験作成委員の任命 (関西地区近隣の上級専門技術者で構成)

認定試験作成委員長 1 名

認定試験作成委員 8 名 に依頼

3. 第 10 回 MR 専門技術者認定試験の準備

2014 年 7 月初旬 認定試験作成委員への試験問題作成依頼

2014 年 7 月 ~ 12 月 試験問題作成

2014 年 12 月 21 日 (日) 第 10 回 MR 専門技術者認定試験作成委員会 (京都)

2015 年 1 月下旬 認定試験最終仕上げ

2015 年 2 月 28 日 (土) 第 10 回 MR 専門技術者認定試験準備委員会

2015 年 3 月 1 日 (日) 第 10 回 MR 専門技術者認定試験

4. 第 10 回認定試験の方針検討

(1) 試験日程, 出題傾向と回答方法

臨床系の問題を増やすし、各部 25 問 / 60 分とする (複数回答肢も作成する)

(2) 認定レベルについて (今後の認定機構の方針と方向性)

(3) 書類審査レベルについて

(4) 更新講習会の開催

上記 (2)(3)(4) について第 9 回を踏襲する。

第 1 回 ~ 第 8 回までの試験問題を公開する (直前の試験は 1 年経てから)

5. 第 5 回認定者の更新

(1) 第 5 回認定試験合格者への更新通知 [2015 年 1 月中旬]

(2) 申請書と更新のための個人票の提出 [2015 年 2 月 1 日 ~ 25 日]

- (3) 更新審査(第10回認定試験時)[2015年3月1日]
- (4) 結果通知と第5回更新と上級磁気共鳴専門技術者認定書の発行[2015年4月]

6. 第7回医療安全セミナー

- (1) 開催日:2014年12月6日(土)9時半~18時半
- (2) 開催場所:日本医科大学付属病院会議室・MR検査室
- (3) 講師は関東地区の専門技術者で構成する。
- (4) 内容・資料は昨年に準じる。更新講習会として認める。
- (5) DVDの販売の促進。安全情報の検索方法などを紹介する。

7. 学術支援活動について

- (1) 2013年度募集の学術調査研究チームの状況
 - テーマ(A)「肝臓領域の三次元T1強調撮像法の比較」
班長:山村 憲一郎(大阪医科大学付属病院),他9名
対象機種13台 第1回会議:5月31日(大阪大学医学部付属病院)
 - テーマ(B)「頭部領域の動きに強いといわれている撮像法の比較」
班長:五月女 康作(筑波大学サイバニクス研究コア),他5名
対象機種6台 第1回会議:4月19日(千葉大学医学部付属病院)
 - 成果は2015年磁気共鳴医学会で発表する予定で進めていただいている。
- (2) 2014年募集の学術調査研究チームの募集
 - 締切:9月1日(昨年より募集広報ならびに締切を早める)
 - テーマ(A) balanced SSFP系シーケンスの比較(用途も含めて)
 - テーマ(B) 内臓型A/D変換器と従来型との比較
 - テーマ(C) イメージフィルタの比較研究
 - 成果は2016年磁気共鳴医学会で発表していただく。
- (3) 各部位の推奨条件の検討
 - 責任者を2人体制とし構成員の見直しを図る。

8. 「MRI検査の安全を考える会」との医療安全啓発活動

- (1) 第5回MR医療安全セミナー(大阪開催)の動画の配信
 - (2) 上級MR専門技術者の支援によるMRI検査の諸問題の質問コーナーの運用
 - (3) 医療安全啓発活動のメディアの活用
- 上記活動は、MR検査の安全に関わることなので人的資源の提供に協力する。

9. 定款改正

法律改正による用語の変更

10. その他

- (1) 教育プログラムの収録 MR医学会が教育コンテンツを収録する予定。
- (2) 現理事の改選について
2015年第1回の理事会から新しい体制で望めるように改選する。
2014年第3回理事会で新理事の候補者を選出しておく。

以上